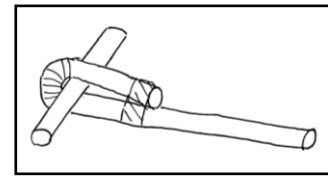


# 筋肉模型を作ろう

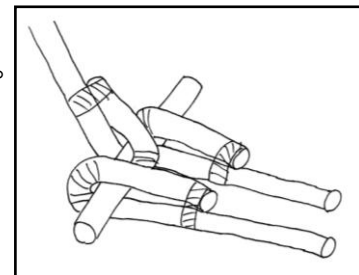
みんなの腕は、筋肉がちぢむことによって動きます。このときにできるのが力こぶです。

(1) みじかく切ったストローに、ながいストローをじゃばらのところで曲げてくみあわせ、セロハンテープでとめます。

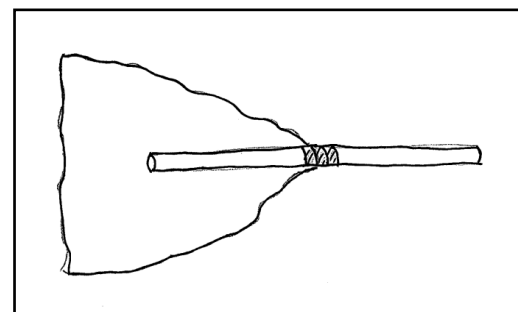


(2) いま付けたストローをはさむように、ぎゃくのむきほんに2本のストローをとめます。

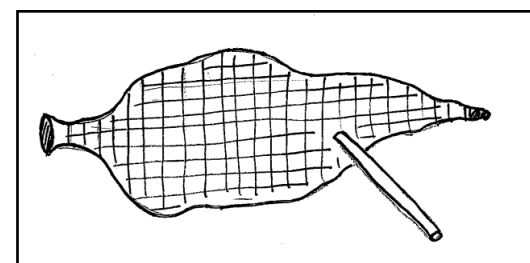
(3) おれま曲がらないように、ストローのなかにわりばしをさし込んでおきます。



(4) ビニルぶくろのくちほそ口に、細いストローをつけます。ストローのまん中をセロハンテープでぐるぐる巻いてとめます。

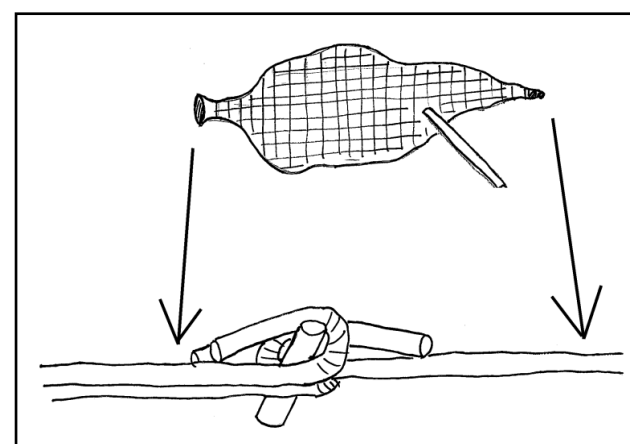


(5) あかいネットのなかに(4)で作ったビニルぶくろを入れて、ストローをネットのすきまから出しておきます。ネットのひらいているほうを、セロハンテープでぐるぐる巻いてとめます。



(6) ネットの端を、ストローが2本ある方の根もとあたりにセロハンテープでとめます。もうかたほうも、のばしてストローにとめます。

※ストローもネットも、のばしたかたちでくっつけること



(7) とびだしているストローに息をふきこむと、筋肉がちぢんで腕が上がります。

※ここでは作っていませんが、筋肉は、うでの下側にもうひとつあって、こちらでうでをのばしています